



2006年1月11日  
ダイキン工業株式会社  
広報部

＜ダイキン「第8回 現代人の空気感調査」＞

～ 全国の主婦 1,400 名に聞いた

「わが家のウォームビズと冬の空気環境に関する意識調査」結果発表 ～

『ウォームビズは一家団らんに一役』

～ 家庭内のウォームビズは生活に良い影響と 75.9%が回答 ～

ダイキン工業株式会社（本社：大阪市）では、全国の主婦 1,400 名を対象に「家庭内における冬の空気環境とウォームビズへの取り組み」についてアンケートを実施しました。

地球温暖化防止のために環境省が推奨している、“暖房に頼りすぎず冬のオフィスを快適に過ごすビジネススタイル「ウォームビズ」”という運動が、ビジネスシーンだけでなく、家庭にまでどの程度浸透しているのかという視点から、家庭内におけるウォームビズの意識と行動の実態を明らかにしようとしたものです。

～ 「わが家のウォームビズと冬の空気環境に関する意識調査」 主な結果～

( ) は報告書での頁数

- I. 8割が家庭でウォームビズを「実践しようと思う」-----3P (P23.31)  
◆環境省推奨の暖房設定温度を知っていると答えた人は 23.9%  
◆暖房の推奨設定温度を「20℃」と知っている人はわずか 13.7%
- II. わが家でのウォームビズは生活に良い影響-----4P (P25)  
◆理由は「光熱費・暖房費が節約できる」（“良い影響と答えた人” 1063 人中 727 人）が圧倒的に多く、ついで「1 つの部屋で家族が一緒に過ごすようになり会話が増える」（同、157 人）が続き一家団らんの一助にも
- III. 温度設定を日頃から意識している人のうち 2 人に 1 人は、昨年と比較して暖房設定温度を 2℃下げている-----6P (P14.20)  
◆今年の冬、心がけようと思っている暖房設定温度の平均は、21.1℃  
◆ウォームビズの実践項目は「重ね着」や「厚手のカーテンに取替」など
- IV. 地域別に見る主要暖房器具の違い-----7P (P8)  
◆“都心部”で、高い普及率の「エアコン」（42.4%）  
◆北海道・東北など雪の多い地方では、今も根強い人気の「石油ストーブ」、「石油ファンヒーター」

## 【調査概要】

### 1.調査対象及びサンプル数：

全国の20代から50代の主婦、1,400人

<サンプル配分>

|        | 合計    | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 |
|--------|-------|-----|-----|-----|-----|
| 合計     | 1,400 | 350 | 350 | 350 | 350 |
| 北海道・東北 | 200   | 50  | 50  | 50  | 50  |
| 関東     | 200   | 50  | 50  | 50  | 50  |
| 甲信越・北陸 | 200   | 50  | 50  | 50  | 50  |
| 東海     | 200   | 50  | 50  | 50  | 50  |
| 近畿     | 200   | 50  | 50  | 50  | 50  |
| 中国・四国  | 200   | 50  | 50  | 50  | 50  |
| 九州・沖縄  | 200   | 50  | 50  | 50  | 50  |

北海道・東北：北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東：茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県

甲信越・北陸：山梨県・長野県・新潟県・富山県・石川県・福井県

東海：岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿：滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国・四国：鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

### 2. 調査方法：Web 調査

### 3. 調査時期：2005年12月9日～12月12日

## 【ダイキン工業の空気感調査】

ダイキン工業は、“空気”にこだわり、また空調の技術を進化させてきた空調のトップメーカーとして、日頃あまり意識されてこなかった“空気”について、もっと多くの方々に関心を持っていただきたいと考え、2002年から“空気”に関する現代人の意識を探るための「現代人の空気感調査」を実施してきました。今回の調査はその8回目となります。

<これまでの主な調査内容> カッコ内は発表日

第1回（2002年6月17日）1万人アンケート「心地よい空気の3大理想郷」編

第2回（2002年12月2日）日本人の「空気・水・安全<3大無料(タダ)モノ>」編

第3回（2003年7月22日）主婦に聞いた「夏の睡眠と空気」編

第4回（2003年11月27日）主婦に聞いた「冬の部屋の空気と風邪対策」編

第5回（2004年4月8日）ビジネスパーソンに聞いた「健康増進法施行1年後の空気」編

第6回（2004年12月7日）ビジネスパーソンに聞いた「冬のオフィスの空気」編

第7回（2005年7月5日）ビジネスパーソンに聞いた

「クールビズにみる夏のオフィス空気」編

## I. 8割が家庭でウォームビズを「実践しようと思う」

- ◆環境省推奨の暖房設定温度を知っている人は、23.9%
- ◆暖房の推奨設定温度を「20℃」と知っている人はわずか13.7%

今後、「家庭でウォームビズを実践しようと思うか」と聞いてみたところ、約8割が「実践しようと思う」（79.8%）と回答し、「実践しようと思わない」（20.2%）を大きく上回り、大多数の主婦がウォームビズに対して強い意欲を持っていることがわかりました。

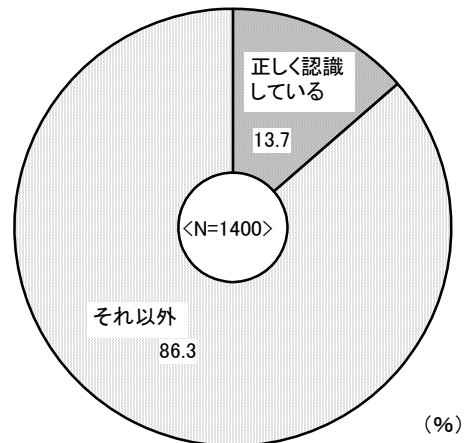
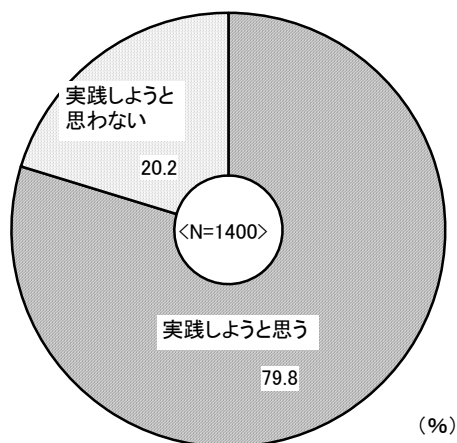
ウォームビズに関して「環境省が室温を何度に設定するように推奨しているか知っているか」、また知っているという人は「本当に正しく認識しているのか」、その認知状況を聞いてみました。知っているかどうかでは「知っている」と答えたのは23.9%にとどまり、大半が「知らない」（76.1%）と答えています。

さらに、「知っている」と答えた人に「正しいと思う温度」をあげてもらったところ、正答である「20℃」と回答した人は、ほぼその半数に過ぎず、正しく認識している人は13.7%という結果でした。

ウォームビズを実践しようと思っている人は、8割近くいるにも関わらず、環境省が推奨する暖房の設定温度を正しく認識していない人が8割以上も存在していました。

<家庭でのウォームビズを実践していこうと思うか>

<環境省が推奨している設定温度の認知>



### 【環境省が推奨する暖房の設定温度とウォームビズについて】

環境省は、地球の温暖化対策を推進するため、この冬、“寒いときに着る、過度に暖房機器に頼らない”という原点に立ち返り、暖房温度を20℃で推奨し、“働きやすく暖かく格好良い”ビジネススタイル“ウォームビズ”を呼びかけています。

“ウォームビズ”は、暖房に必要なエネルギー使用量を削減することによって、CO2発生を削減し地球温暖化を防止することが目的です。

上記の文章は、環境省の公式HPより引用 URL : <http://www.env.go.jp/>

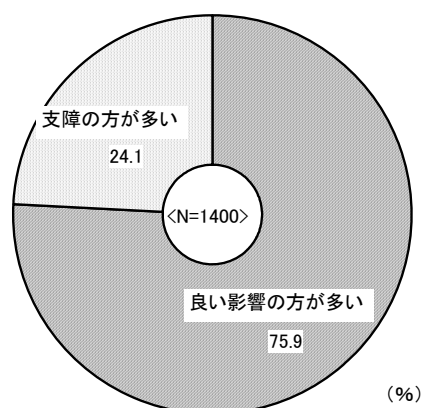
## II. わが家でのウォームビズは生活に良い影響

- ◆理由は「光熱費・暖房費が節約できる」（“良い影響と答えた人” 1063 人中 727 人）が圧倒的に多く、ついで「1つの部屋で家族と一緒に過ごすようになり会話が増える」（同、157 人）が続き、一家団らの一助にも

家庭内にウォームビズを取り入れることについては、生活の様々な場面であらゆる影響を及ぼすことが考えられますが、**良い影響と悪い影響（支障）のどちらが多くなると思うか**聞いて見ました。その結果4人中3人が「良い影響の方が多い」（75.9%）と回答しており、「支障の方が多い」（24.1%）を大きく上回る結果になりました。

さらに、家庭内でウォームビズを取り入れることについて「良い影響」と答えた人に、「**どのような良い影響を及ぼすと思うか**」と聞いたところ「光熱費・暖房費が節約できる」（727 人）と費用について答えた人が大多数でした。しかし、2位以降にも、「1つの部屋で家族と一緒に過ごすようになり会話が増える」（157 件）、や「省エネという共通の目標を持つことで家族にまとまりができる」（11 人）という答えもあり、省エネルギー対策が、薄れつつあると言われる家族団らんに一役を買っている実態が見受けられました。

<家庭でのウォームビズが生活に及ぼす影響について>



<家庭でのウォームビズが生活に及ぼす良い影響ランキング>

| 順位 | 回答内容                         | 人数  |
|----|------------------------------|-----|
| 1  | 光熱費・暖房費が節約できる                | 727 |
| 2  | 1つの部屋で家族と一緒に過ごすようになり会話が増える   | 157 |
| 3  | 夜更かしをしなくなり規則正しい生活を送るようになる    | 45  |
| 4  | 抵抗力がつき体が丈夫になる                | 34  |
| 5  | 環境問題を考えるきっかけになる              | 28  |
| 6  | 部屋の空気が乾燥しなくなる（喉を痛めない・乾燥肌によい） | 22  |
| 7  | じっとしていると寒いので体を動かすようになる       | 19  |
| 8  | 外気との温度差が小さくなり健康を害しなくなる       | 18  |
| 9  | 節約する意識のきっかけになる               | 17  |
| 10 | 部屋の空気が汚れなくなる                 | 11  |
| 〃  | 省エネという共通の目標を持つことで家族にまとまりができる | 11  |
| 12 | 家族と一緒に食事をするようになる             | 10  |
| 〃  | 結露ができなくなる                    | 10  |

一方、生活面に及ぼす悪い影響（支障）の方が多いと答えた人に、具体的に「どのような支障が考えられるか」をあげてもらいました。

支障のなかで圧倒的に多いのは「家族が風邪をひきやすくなる」（44件）、「家族が風邪をひかないように気を遣うのが大変」（43件）、「小さな子どもがいるので健康管理上無理」（36件）、「風邪をひいて医療費がかかってしまう」（17件）、「健康を害しそう」（16件）、「老人がいるので健康管理上無理」（13件）、「肩こりがひどくなりそう」（6件）、「病人がいるので健康管理上無理」（4件）、「持病が悪化しそう（関節痛）」（2件）、「受験生がいるので健康管理上無理」（1件）など“家族の健康面での不安”です。

そのほか、「厚着をすると動きにくくなる」（46件）、「寒くて動くのがおっくうになる」（16件）といった“動きが鈍る”や、「衣料費がかかる」（39件）、「いろいろなお金がかかる」（7件）といった“家計面”、「衣類を多く着ると洗濯物が増える」（17件）の“余分な仕事が発生する”、さらに「寒冷地では無理」（12件）、「雪国は天候が悪く洗濯物を干すには暖房が欠かせない」（3件）といった“寒冷地特有の事情”などがあげられています。

＜家庭でのウォームビズが生活に及ぼす悪い影響（支障）ランキング＞  
（支障が多いと答えた人のみ N=337）

| 順位 | 回答内容                   | 人数 |
|----|------------------------|----|
| 1  | 厚着をすると動きにくくなる          | 46 |
| 2  | 家族が風邪をひきやすくなる          | 44 |
| 3  | 家族が風邪をひかないように気を遣うのが大変  | 43 |
| 4  | 衣料費がかかる                | 39 |
| 5  | 小さな子どもがいるので健康管理上無理     | 36 |
| 6  | 衣類を多く着ると洗濯物が増える        | 17 |
| 〃  | 風邪をひいて医療費がかかってしまう      | 17 |
| 8  | 健康を害しそう                | 16 |
| 〃  | 寒くて動くのがおっくうになる         | 16 |
| 10 | 寒くて生活できない、寒さに弱い（冷え性など） | 15 |
| 11 | 老人がいるので健康管理上無理         | 13 |
| 12 | 寒冷地では無理                | 12 |
| 13 | 精神的にストレスになる            | 11 |
| 〃  | 家族から不満が出る              | 11 |

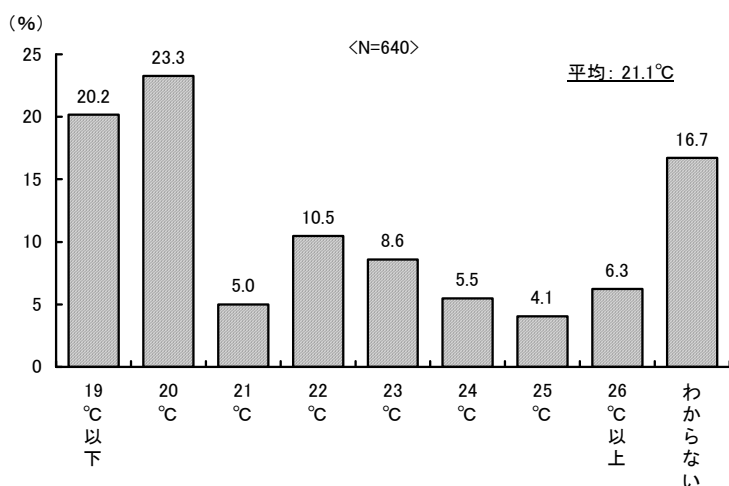
### Ⅲ. 温度設定を日頃から意識している人のうち2人に1人は、昨年と比較して暖房設定温度を2℃下げている

- ◆今年の冬、心がけようと思っている暖房設定温度の平均は、21.1℃
- ◆ウォームビズの実践項目は「重ね着」や「厚手のカーテンに取り替え」など

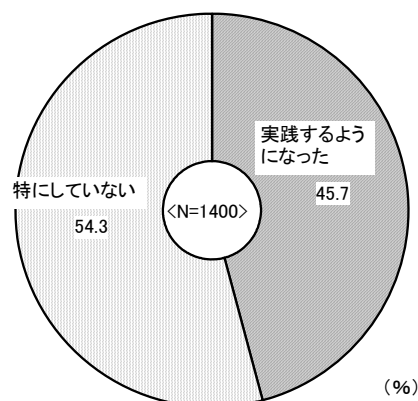
2005年度の冬、さまざまな場面でウォームビズが取り上げられるなか、**どれくらいの家でウォームビズを実践するようになったのでしょうか。**半数近くが「実践するようになった」(45.7%)と答えており、「特にしていない」(54.3%)が半数強となっています。次に、**＜ウォームビズを実践するようになった＞**と回答した人に対して、さらに**今年度の冬は何℃に設定するようになったのか**を具体的にあげてもらいました。「20℃」(23.3%)が最も多く、次いで「19℃以下」(20.2%)の順となっています。

それ以上の温度はさほど多くありません。平均は21.1℃です。また、昨年度までの設定温度と今冬の設定温度の両方に回答した人(473サンプル)だけで集計した平均温度は21.0℃です。このサンプルの昨年までの設定温度は、平均22.6℃と考えるとこの冬は、昨年に比べて平均設定温度は-1.6℃、つまり2人に1人は約2℃下げていることになります。

＜室温の設定について＞



＜家庭でのウォームビズ実践について＞



部屋の設定温度を下げた代わりに**寒さ対策としてどのようなことを行っているのか**についても聞いてみました。「特に何もしていない」(4.2%)という人はごく僅かで、大半(95.8%)は何らかの対策をとっているということです。対策のなかで最も多いのは「上に重ね着をしている」(76.6%)で、次いで「下着を重ね着している・厚手のものを着ている」(55.3%)が多くなっています。

また、「部屋のカーテンを厚いものに替えた」(8.9%)や「部屋のカーテンを床まで届く長いものに替えた」(8.0%)といった“カーテンの取り替え”などの工夫も少なくありません。そのほか、「その他」として下記の表のように、「窓ガラスの断熱シートを貼った」(10件)、「隙間テープを貼った」(5件)、「カーペットの下に保温シートを敷いた」(5件)、「靴下を履く」(7件)、「雨戸を閉める」(3件)など様々な工夫があげられています。

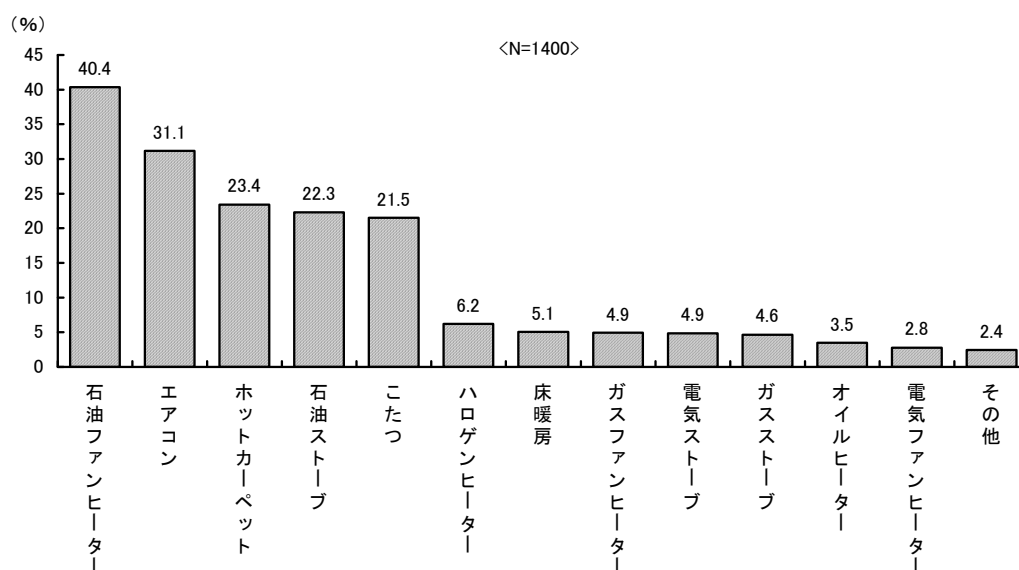
一方、**＜ウォームビズを特に実践していない＞**と回答した人に対して、**なぜ実践しないのか**、その理由を聞きました。最も多いのは「取り組まないといけないとわかっているがなかなか実践できない」(32.9%)、「寒いのは我慢できない」(27.2%)が続いています。

#### IV. 地域別に見られる主要暖房器具の違い

- ◆ “都心部”で、高い普及率の「エアコン」(42.4%)
- ◆ 北海道・東北など雪の多い地方では、未だに根強い人気の「石油ストーブ」、「石油ファンヒーター」

居間など日ごろ家族が集まる部屋では、**暖房器具として主に何を使っているのか**をあげてもらいました。全国的に最も多いのは、「石油ファンヒーター」(40.4%)で、次いで「エアコン」(31.1%)の順となっています。以下「ホットカーペット」(23.4%)、「石油ストーブ」(22.3%)、「こたつ」(21.5%)が続いています。

<居間などの家族が集まる部屋で使っている主要な暖房器具【2つまで】>



地域別に見ると、【甲信越・北陸】は、「石油ファンヒーター」(53.0%)が多く占め、【北海道・東北】は、「石油ストーブ」(44.0%)が最も多く、その割合は他の地域を大きく上回っています。一方、【関東】は「エアコン」(42.5%)が最も多くなっています。なお、【北海道・東北】は、「エアコン」(7.0%)が他の地域に比べて極端に少なくなっています。

都市規模別に見ると、【東京都・政令指定都市】は、「エアコン」(37.5%)が最も多く、中でも【札幌市を除く東京都・政令指定都市】ではとりわけ「エアコン」(42.4%)が多いのに対して、【それ以外の都市】は「石油ファンヒーター」(44.4%)が最も多くなっています。そのほか「石油ストーブ」(24.1%)や「こたつ」(23.0%)なども【東京都・政令指定都市】を上回っています。

以上のように、都市部はエアコン、ホットカーペット、床暖房等の火を使用しない暖房器具が多いのに対して、雪の多い地方は石油ファンヒーター、石油ストーブ、こたつ等の火を使用する暖房器具が多くなっています。これは単に地域特性、文化の違いというだけでなく、現在販売されているエアコンが、寒い地域でも十分な暖房能力が発揮できることが認知されていないことも大きな要因の一つだと考えられます。また、都市部では火事を避けるために、石油ストーブなどの火を使う暖房器具の使用が禁止されていることや、その代わりに住居にエアコンなどが設置されている場合が多いことも大きな要因になっていると考えられます。

## 【おわりに】

今回の調査から「ウォームビズ」に対する主婦の意識や、家庭における様々な問題や課題が浮き彫りになりました。家庭では、79.8%の主婦が「ウォームビズを実践したい」、45.7%が「実践するようになった」と回答し、家庭内では比較的ウォームビズに対して前向きな考えを持っていることがわかりました。

また、「ウォームビズ」運動の目的や効果が省エネのための防寒対策として推進されていますが、調査では「1つの部屋で家族と一緒に過ごすようになり会話が増える」や「家族と一緒に食事をするようになる」などの意見も多くありました。「ウォームビズ」をキッカケとして、少なくなってきたといわれる「家族団らん」を取り戻すのに一役かうという副次的な効果もあることがわかりました。

今回の調査では、暖房時の設定温度の平均は「21.0℃」であり、昨年の22.6℃に比べると1.6℃下がっていたという事実が判明し、CO2削減のため政府/環境省が推奨する、冬の暖房器具の温度設定20℃に徐々に近づいています。今後、ウォームビズが完全に浸透するには職場だけでなく家庭までが一体となって意識改革をしていくことが必要のようです。

今後も総合空調メーカーとして、オフィスから家庭まで快適な空気環境を提供して参ります。

※本調査の詳細につきましては、「総合報告書」もあわせてご覧ください。

### ●この件に関するお問い合わせ先

ダイキン工業株式会社 コーポレートコミュニケーション室

【本 社】〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目 4 番 12 号(梅田センタービル)

TEL (06)6373-4348(ダイヤルイン) / FAX (06)6373-4330

【東京支社】〒108-0075 東京都港区港南二丁目 18 番 1 号(JR 品川イーストビル)

TEL (03)6716-0112(ダイヤルイン) / FAX (03)6716-0200